



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年7月13日
5年度第13号

先週7日（金）は、学習参観に多数の保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。去る4月の頃からはまた少し成長した各学級の様子を感じ取っていただけたものと思います。「授業参観あるある」ですが、家族に見に来てもらった（見られている？）ほどよい緊張感で魔法がかかり、いつもよりシャキッとがんばって拳手や発表に挑戦する子もいたようです。きっかけはどうあれ、子供の心が動き、授業に真剣に向き合う時間を味わうことができているのならよかったです。



続く学級懇談会では、保護者の皆様と各担任とが、ともに1学期の様子を振り返りながら懇談し、情報を共有することができよかったです。来たる夏休みに向けて気になることも挙げていただきました。全校で確認した方がよいと思われることもありました。後日改めてお知らせしたいと考えています。

勇気を出す 勇気を育てる～日頃心に留めていることを少し～

さて、7日は学級懇談会のあとにPTA主催の「心肺蘇生法講習会」も行われました。本校では夏休みのプール開放の際にPTA会員（保護者と教員）が監視当番を担当するので、それに備えての講習となっています。消防署の方のお話とデモ実演の後、参加者が3つのグループに分かれて実技練習に取り組みました。



消防署の方は、倒れている人を見かけたとき〔溺れている人をプールサイドに引き上げたとき〕に、勇気を出して救助に当たってほしいと話されました。その「勇気」という言葉が特に私の心に留まりました。日頃から何気なく使う言葉ですが、いざというときに本当に勇気を出せるのかと考えると、なかなか難しいこともあるからです。

★よいと分かっていることは勇気を出して行えるように・・・！

私が時々自分を奮い立たせる言葉の一つに「義を見てなさざるは勇なきなり（ぎをみてなさざるはゆうなきなり）」（論語）があります。よいことだと分かっているのにしないのは勇気がないからだ、裏返すと「よいと分かっていることは勇気を出して行え」となります。できない言い訳をするのはほどほどにして、よいと分かっていることは思い切って行う勇気を持ちたいものだと思っています。

★勇気を育てるのは毎日の小さな場面から少しずつ・・・

20年以上も前の話なのですが、当時NHKドラマ「中学生日記」で教師役をしていた岡本富士太さんの講演を、桜井中学校の生徒といっしょにコラーレで聴いたことがありました。岡本さんは仕事柄、いじめに悩む中学生の相談をよく受けたそうです。講演の後に会場の桜中生の一人が質問しました。「教室でいじめが起きたとき、『いじめをやめよう』と言い出す勇気はどうやったら出せるのですか。」これに対し、岡本さんは少し考えたあとでこう話されました。

「特別なことでなくていい。毎日の中に自分の勇気を育てるチャンスはたくさんあるはずだ。たとえば授業中に思い切って手を挙げて発表する。これまで一度も跳べていない跳び箱に思い切ってもう1回トライしてみる。苦手なことにも粘り強く挑戦してみることを続けていくことで、君の中の勇気はきっと大きく育っていくよ。」この言葉がしっくりときて以来、私は今でも機会があると「自分の勇気を育てていこう」「今、あなたの勇気が少し育ったね」などと子供に話しかけるようにしています。



本校のめざす「たくましく」の中には身体の強さだけではなく、こうした心の強さ、勇気も含まれていると考えています。荻っ子には、日頃の様々な場面で自分の勇気の種を育て、いざというときにはその勇気を発揮し、よいと思うことを行動に移すことで自分を成長させていってほしいと思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

横島勝人先生の音楽教室(豊かな体験事業)

11日(火)の午後、「黒部で第九を歌う会」の音楽監督でもある指揮者の横島勝人先生(神奈川)が来校し、3年生の6限の音楽の特別授業をしてくださいました。①各自がペットボトルに好きなだけ水を入れ、棒で叩く「自分だけの楽器」をつくる。②4種類の音符を使って4拍分の「自分の音楽」を「作曲」する。それを五線紙にメモし、自分の楽器で演奏する。③7つのグループでそれぞれ作った4拍分の音楽をつなげて「クラスの音楽」を作り、皆で演奏する。という少し難しめの内容でしたが、優しく面白く話す横島先生に導かれ、夢中になって楽しく取り組んでいた子供たちでした。小学生に初めて授業をしたという横島先生も「熱心に取り組んでくれてとても楽しかった。ありがとう」と話しておられました。



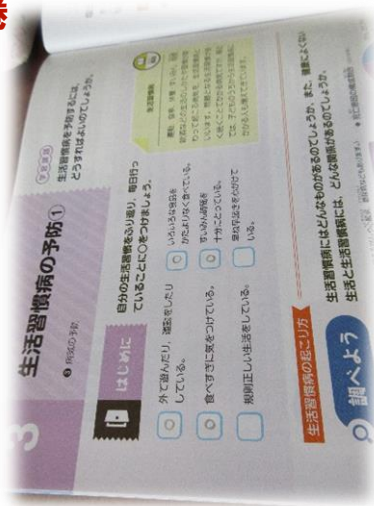
という少し難しめの内容でしたが、優しく面白く話す横島先生に導かれ、夢中になって楽しく取り組んでいた子供たちでした。小学生に初めて授業をしたという横島先生も「熱心に取り組んでくれてとても楽しかった。ありがとう」と話しておられました。

シリーズ「教室におじゃまします」7/12(水)6年体育(保健)の巻

6年体育は5年担任の高松先生が担当しています。楽しみにしていたプールが雨天のため中止となり、この日は教室での保健分野の学習となりました。



「生活習慣病って聞いたことある?」という先生の問いかけに10人ほど挙手したものの、よくは分からない様子でした。教科書を開き、生活習慣病の予防について学びます。まず6つの項目をチェックし、0の数を確認しながら、生活習慣病の原因となる「生活習慣」には、運動不足や偏った食事、睡眠(休養)不足、飲酒、喫煙等があることを押さえました。具体的な病名・症状として、がんや心臓病、高血圧症等があること、また日本人の死亡原因の半分以上はこうした生活習慣病に由来することなどを教科書内のグラフ等から確かめていきました。



高松先生の話をよく聞き、教科書に蛍光ペンで線を引いたり、近くの友達とポイントを絞って相談したりする姿に6年生らしい落ち着きを感じました。これから自分が実行したいこととして、「できるだけ毎日運動したい」「これまでどおり大休けいには運動をしたい」「お菓子を食べる時間と量を決めたい」など、自分の考えをまとめていきました。子供でも発症することがあるという「生活習慣病」です。今回の学習内容を日頃の健康な生活のために生かしてください。

高松先生の話をよく聞き、教科書に蛍光ペンで線を引いたり、近くの友達とポイントを絞って相談したりする姿に6年生らしい落ち着きを感じました。これから自分が実行したいこととして、「できるだけ毎日運動したい」「これまでどおり大休けいには運動をしたい」「お菓子を食べる時間と量を決めたい」など、自分の考えをまとめていきました。子供でも発症することがあるという「生活習慣病」です。今回の学習内容を日頃の健康な生活のために生かしてください。



おまけのくひとこと 指揮者の横島勝人先生とは「黒部で第九を歌う会」での知り合いです。実は私、その会の理事をしています。その関係で4月に横島先生とお話した際、私が小学校の校長だと知り「是非一度、僕に授業をさせてほしい」と頼まれていたのです。さて、いつも説明が分かりやすい横島先生、この日も「これは『太鼓の達人』と同じだね!」「みんなでまちがえずに演奏できるまで『帰れまテン』だよ」など、ところどころに子供がその気になれるワードを使って楽しく授業をしていただき、3年生には少し高度で盛りだくさんの音楽づくりの学習があつという間に終わった気がしました。さすがプロ中のプロの音楽家の先生です!

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第13号への感想

年 児童名